

令和 2 年度
第 2 回
学校関係者評価委員会

令和2年11月27日（金）

14:45 ～ 15:45

於 大会議室

鹿児島県立松陽高等学校

1 会 順

- | | |
|---------------|-------|
| (1) 開 会 (當房) | 14:45 |
| (2) 校長あいさつ | 14:46 |
| (3) 日程説明 | 14:49 |
| (4) 中間報告 (當房) | 14:50 |
| (5) 授業参観 | 14:55 |
| (6) 生徒会との懇談会 | 15:20 |
| (7) 閉会 | 15:45 |

2 出席者

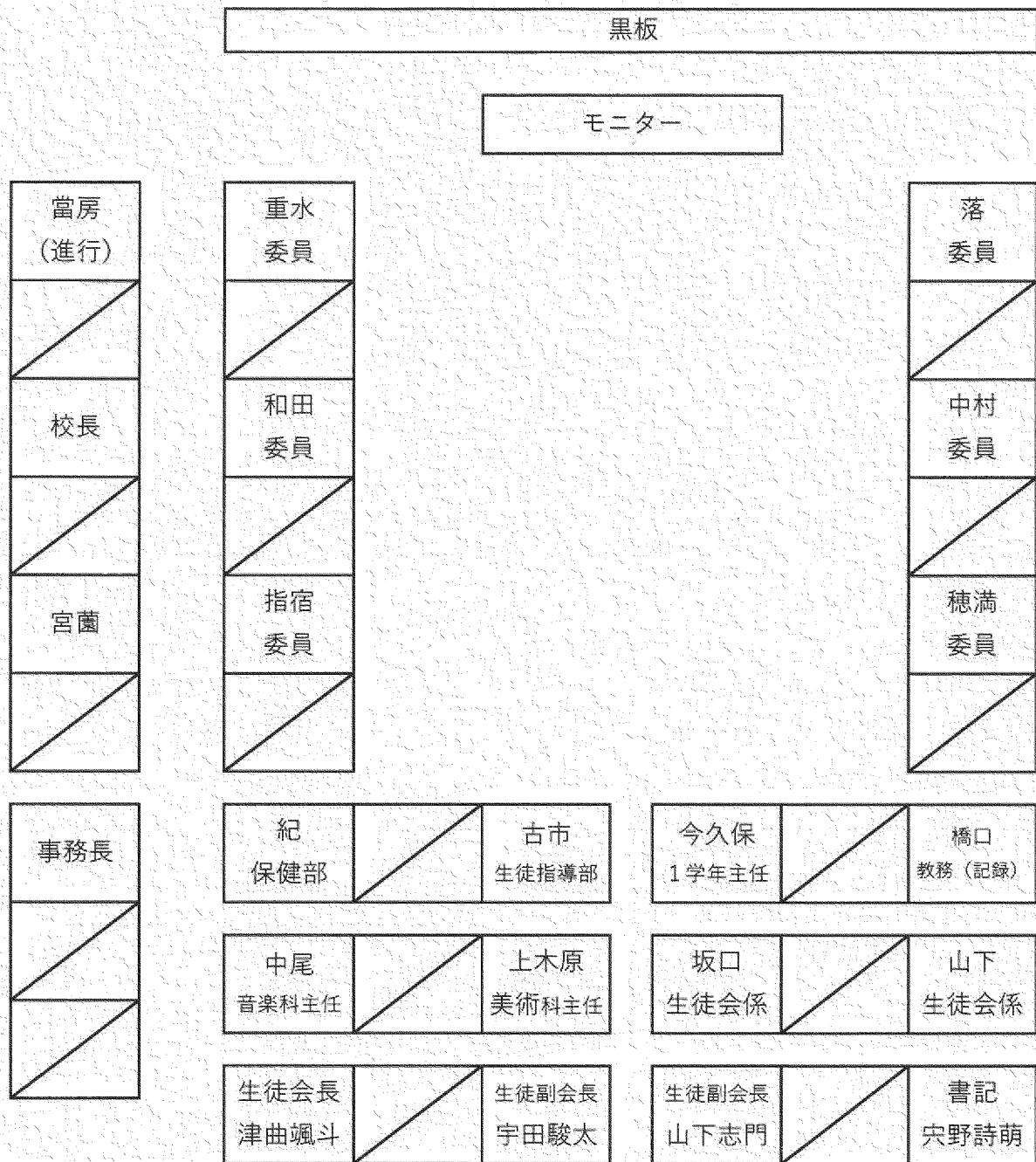
【学校関係者評価委員】

氏名	役職等
重水 愛	松陽高校PTA会長（保護者代表）
和田 智勢	松陽高校PTA副会長（保護者・母親代表）
指宿 忠一	松陽高校同窓会長（同窓会代表）
落 盛久	鹿児島市立松元小学校長（小学校代表）
中村 浩一	鹿児島市立松元中学校長（中学校代表）
穂満 和廣	松元校区まちづくり協議会会長（地域住民代表）
児玉 さら	臨床心理士 ※本日は所用のため欠席です。

【本校職員（生徒）】

氏名	役職等	氏名	役職等
東郷 孝仁	校長	上木原 堅一	美術科主任
當房 秀之	教頭	橋口 仁美	教務
宮 園 広幸	教頭	坂口 琢真	生徒会係
恒吉 敬信	事務長	山下 佳奈美	生徒会係
紀 直人	保健主任	津曲 颯斗	生徒会長
古市 幸司	生徒指導主任	宇田 駿太	生徒会副会長
今久保 圭二	1学年主任	山下 志門	生徒会副会長
中尾 麻里	音楽科主任	穴野 詩萌	生徒会書記

3 座席図(第2回学校関係者評価委員会)



各県立学校長 殿

鹿児島県立松陽高等学校
校長 東郷 孝仁

鹿児島県総合教育センター研究提携校 鹿児島県立松陽高等学校
令和 2 年度テレビ会議システムによる授業公開について（御案内）

時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本校では、平成 30 年度から「思考力・判断力・表現力の効果的な育成を目指した授業改善Ⅱ—より深い思考や理解を促す授業づくり—」をテーマに、各教科において効果的な学習指導法の工夫や改善等について研究を進めているところです。

今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応のため、「テレビ会議システムによる授業公開」という形で、本校の取組を紹介することといたしました。

つきましては、下記のとおり、貴校職員のテレビ会議システムへの参加について御配慮くださいますようお願いいたします。

なお、同日開催予定の県総合教育センター短期研修講座（後期）「ここがポイント！高校理科の評価方法改善講座」につきましては、学校において感染症対策を講じた上で予定どおり実施することを申し添えます。

記

1 期 日 令和 2 年 11 月 5 日（木）

2 会 場 鹿児島県立松陽高等学校
〒899-2702 鹿児島市福山町 573 TEL 099(278)3986

※ 授業公開は、テレビ会議システムによる配信になります。参加者は、各所属の PC 等の機器を使用して受信してください。

3 日 程

- ・受付（テレビ会議システムにサインイン） 13:35～14:00
- ・開会あいさつ（学校長，総合教育センター所長） 14:00～14:20（20分）
- ・諸連絡 14:20～14:35（15分）
- ・授業公開（テレビ会議システムによる一方向配信） 14:35～15:25（50分）
- ・準備 15:25～15:40（15分）
- ・協議（テレビ会議システムによる双方向配信） 15:40～16:10（30分）

（各教科で閉会）

※ 理科の参加者は、授業公開までの配信となります（短期研修講座開催のため。）。

4 授業教科，単元，授業者等

教科	組・年(科)	単元・授業内容	授業者	県総合教育センター 共同研究者
国語	現代文B 2年（普通科）	評論（四）メディアと情報 西垣通著「生命情報・社会情報・ 機械情報」	伊地知 樹理	教科教育研修課研究主事 梅本 かおり
数学	数学 I 1年（普通科）	3章 図形と計量 2節 三角比と図形の計量	長友 望朗	教科教育研修課研究主事 水迫 慎也 當 太輝
理科	化学 3年（普通科）	有機化合物	福留 猛	教科教育研修課研究主事 大野 康博 日高 大祐
外国語	コミュニケー ション英語Ⅱ 2年（普通科）	Chapter 6 “A Delicious Japanese Culture: Bento”	上玉利 卓磨	教科教育研修課研究主事 有嶋 宏一

5 申込方法等

- ・ 下記アドレスまたはQRコードを読み取り，入力フォームから 令和2年10月22日（木） までにお申し込みください。
- ・ 参加者には，申込締切り後にテレビ会議システムにサインインするための ID，パスワードを各学校メールでお知らせします。
- ・ 指導演については，参加者の学校メールへ後日送付しますので，各自で事前に印刷して御準備ください。
- ・ 各学校においては，参加者が校内で研修する環境設定（時間，場所，機器等）に御配慮くださるよう，お願いします。

○ PC から入力する方（申し込みフォームアドレス）

<https://forms.gle/DmWNAKW4qtTx2HBW7>

○ タブレット等から入力する方（申し込みQRコード）



業務改善アクションプランに係るフォローアップ調査等中間報告

調査1 あなた自身は業務改善に取り組んでいますか。次の選択肢の中から選んで教えてください。

- (選択肢) 1 積極的に取り組んでいる。
2 概ね取り組んでいる。
3 あまり取り組んでいない。
4 全く取り組んでいない。

	1	2	3	4	単位 (人)
3月	12(16.9%)	42(59.2%)	16(22.5%)	1(1.4%)	
9月	10(13.9%)	51(70.8%)	11(15.3%)	0(0%)	

R2年度末→80%以上目標
1+2=84.7% 目標達成!

調査2 あなたは学校における業務改善が進んでいると感じますか。次の選択肢の中から選んで教えてください。

- (選択肢) 1 十分感じている。
2 概ね感じている。
3 あまり感じていない。
4 全く感じていない。

	1	2	3	4	単位 (人)
3月	3(4.2%)	37(52.1%)	30(42.3%)	1(1.4%)	
9月	1(1.4%)	44(61.1%)	26(36.1%)	1(1.4%)	

R2年度末→70%以上目標
1+2=62.5% 目標達成まで後7.5%(人数でいうと6人弱)

調査3 業務改善アクションプランで示した重点取組1から4は、あなたにとって効果が表れていると感じますか。それぞれの重点取組に対して、次の選択肢の中から選んで教えてください。

- (選択肢) 1 十分効果が表れている。
2 概ね効果が表れている。
3 あまり効果が表れていない。
4 全く効果が表れていない。
5 職種等の性質上、該当しない。

重点取組1 業務改善に対する意識改革 単位(人)

	1	2	3	4	5
3月	9(12.7%)	42(59.1%)	20(28.2%)	0	0
9月	5(7%)	51(70.8%)	16(22.2%)	0	0

R2年度末→80%以上目標
1+2=77.8% 目標達成まで後2.2%

重点取組2 事務の負担軽減と専門スタッフの活用 単位(人)

	1	2	3	4	5
3月	0	27(38%)	31(43.7%)	10(14.1%)	3(4.2%)
9月	1(1.4%)	33(45.8%)	28(38.9%)	4(5.6%)	6(8.3%)

R2年度末→40%以上目標
1+2=47.2% 目標達成!

重点取組3 授業準備の効率化と時間確保 単位(人)

	1	2	3	4	5
3月	0	23(32.4%)	36(50.7%)	4(5.6%)	8(11.3%)
9月	1(1.4%)	30(41.7%)	30(41.7%)	1(1.4%)	10(13.8%)

R2年度末→40%以上目標
1+2=43.1% 目標達成!

重点取組4 部活動に係る勤務状況の改善

	1	2	3	4	5
3月	0	32(45.1%)	23(32.4%)	5(7%)	11(15.5%)
9月	2(2.8%)	40(55.6%)	18(25%)	2(2.8%)	10(13.8%)

R2年度末→50%以上目標
1+2=58.4% 目標達成!

令和元年度の勤務時間外の平均在校等時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
時間	40.0	49.7	50.4	41.2	27.2	48.8	45.2	33.3	32.5	28.5	26.2	8.9

4月～9月の平均→42.9時間 10月～3月の平均→29.1時間

令和2年度の勤務時間外の平均在校等時間 4月～10月の平均→27.9時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
時間	26.0	24.5	30.5	31.1	18.3	29.0	35.9					

令和2年度 第2回 衛生委員会報告

1 日 時 令和2年 10月 9日(金) 13:30~14:00 応接室

2 協議内容

- ・働き方改革について
現状確認と取り組み可能な方策について

参考資料 ①新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について(答申)
②学校における働き方改革を踏まえた部活動改革概要
③松陽高校部活動運営方針
④業務改善アクションプランに係るフォローアップ調査中間報告

- ・その他 ストレスチェックの実施と分析について
職員アンケートの実施について

3 産業医指導助言

【構成委員】 11名

東郷校長, 當房教頭, 宮菌教頭, 恒吉事務長, 渡邊(産業医), 紀, 有馬, 達山, 田原, 福留, 堀

(概要)

- ・本校での在校時間の実態及び令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行をみずえて, 職員の「部活動」に対する意識改革。
- ・原則として「松陽高校部活動運営方針(R元年7月)」により, 週末どちらか1日の休日や原則半日(3時間以内)の活動を徹底する。
- ・複数顧問で分担して, 一人の顧問に負担が集中しないように, 土日を含めて業務を分担していく体制を作る。
- ・対外試合の回数等も, 職員の負担を考えて計画すべきではないか。
- ・平日も含めて効率的, 計画的な練習を心がけ, また, 生徒・保護者に対して活動方針や活動計画について周知し, 理解と協力が得られるようにする。
- ・部活動の負担を少しでも減らしていけるような方法について, 職員にも意見を出してもらう。

・・・・・・・・ キ リ ト リ セ ン ・・・・・・・・

部活動の負担軽減に向けての具体的方策

※ 10月30日までに提出をお願いします。